



scene

Electric Kettle

デロンギ
シーン
電気ケトル

型式番号 **SJM470J**

家庭用



この製品は湯わかし専用です。
保温機能はついていません。

取扱説明書

保証書付

この度は、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は保証書を添付しておりますので、大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。



注意

ご使用の前に以下の項目をご確認ください。
特に乳幼児やお年寄りがいらっしゃるご家庭は、ご注意ください。



蒸気や熱湯に注意
やけど



表面を触らない
やけど



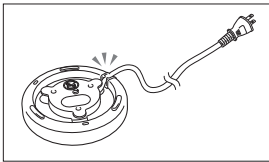
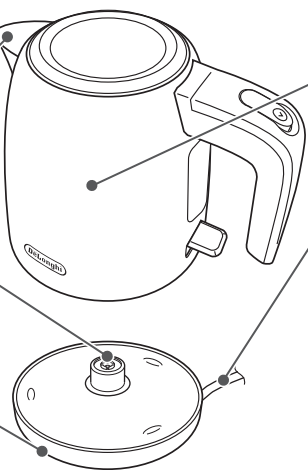
接続部に触れない
金属製のものを付着
させない
感電



電源コードはホルダーから
引き出す
電源コードはフックに留める
やけど

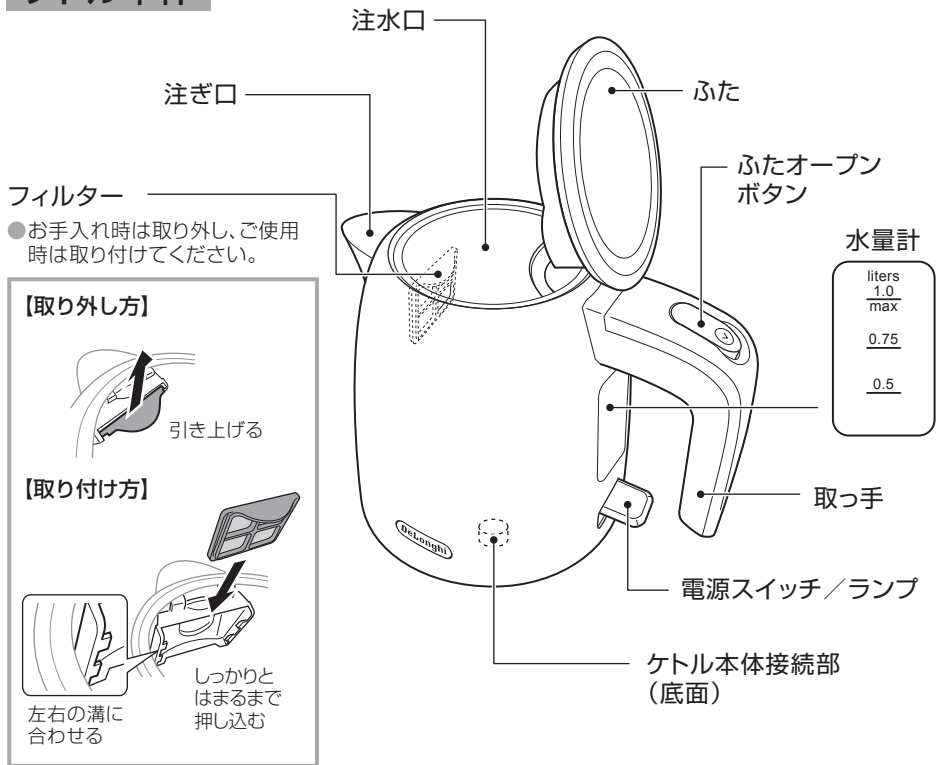


安定した場所に
設置する
やけど けが

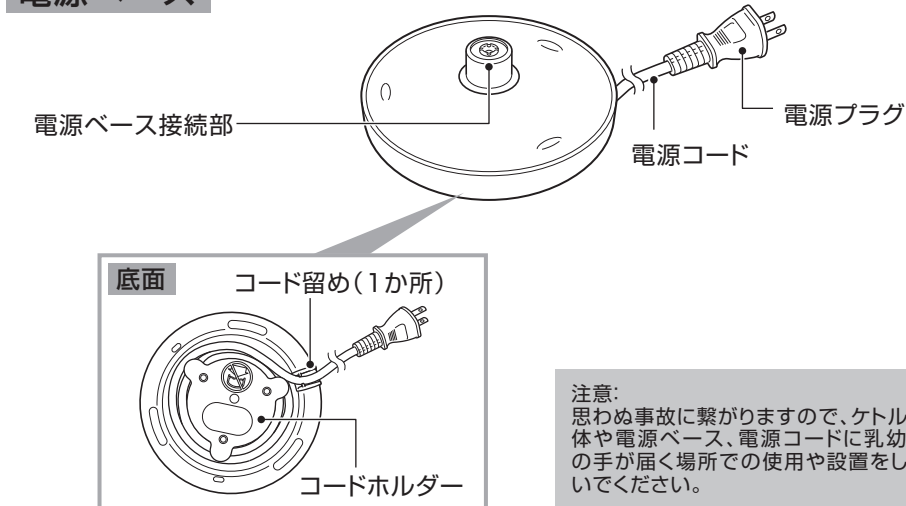


1 各部の名前

ケトル本体



電源ベース



保証書（共通）

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ シーン 電気ケトル				型式番号：SJM470J	
お客様	ご氏名：様		販売店	※店名・住所・TEL：	
	TEL：			見本	
	ご住所：〒				
※お買い上げ日：年 月 日				保証期間：お買い上げ日より1年間	
				保証対象：本体	

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことををお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担になりますので、ご了承ください。
 - 本書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - 火災・公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)・異常電圧・定格外の使用電源(電圧・周波数)および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷

- 一般家庭用以外(例えば業務用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
- 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 消耗品が消耗し、取り替えが必要な場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記デロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

この製品は欧州RoHS 指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間:土、日、祝日を除く毎日 9:30~17:00)

コールセンター **Tel.0120-804-280** **Fax.045-450-3291**

〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

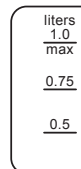
ホームページでのお問い合わせ(URL)..... <http://www.delonghi.co.jp/support>

2 使い方

1 水を入れる

1 0.14L~1.0Lの範囲で水を入れる

最大水量(1.0L)を超えると、お湯がふきこぼれて危険です。
最小水量(0.14L)以下だと、空だき防止機能*1が働いて、お湯が沸きません。



2 ふたを開める

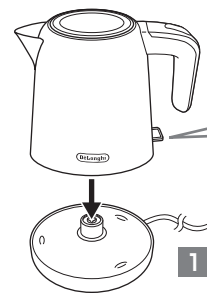


注意:
お湯を沸かす際は、必ずフィルターを取り付け、ふたを閉めてください。

*1: 空だき防止機能とは、ケトル内の水が最小水量以下だと、電源を入れても入らない機能。

2 お湯を沸かす

3 電源スイッチを下げる



電源スイッチが元に戻り、ランプが消灯

湯沸しが完了し、自動で電源が切れる

ランプが点灯し、湯沸しが開始

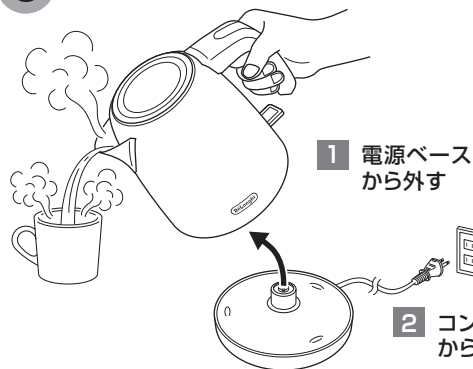
1 コンセントに差し込む

2 電源ベースに載せる

●途中で電源を切るときは電源スイッチを上げて切ってください。

注意:
お湯を沸かしている間や沸いた後に、絶対にふたを開けないでください。熱い蒸気が噴き出すことがあり、大変危険です。また、注ぎ口からの熱い蒸気や、熱くなった本体に手や顔を近づけないようにしてください。やけどやけがの原因となります。

3 お湯を注ぐ

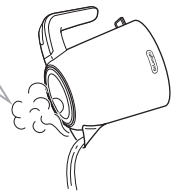


1 電源ベースから外す

2 コンセントから抜く

必ずお守りください

使用後は熱湯を入れたまま放置せず、ケトルを空にします。



- 保温はされませんので、時間が経つとお湯は冷めてしまいます。
- 続けてご使用の場合は、1~2分間の時間を置いてください。

安全上のご注意 ＜必ずお守りください＞

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

警告

定格15A(100V)のコンセントを本製品単独で使用する
(発火・火災・感電の原因)

- ※ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ※延長コードやテーブルタップなどは使用しないでください。
- ※他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱します。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
(火災・感電の原因)

電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
(火災の原因)

故障・異常時には使用を中止する
(火災・感電の原因)

- ※故障・異常時には、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

- [例]
- ・電源プラグ／電源コードが異常に発熱
 - ・ケトル本体、電源ベース、電源プラグ、電源コードなどの変形、破損
 - ・ケトル本体からの水漏れ
 - ・沸いたのに電源が切れないなど



動作中に電源プラグを抜き差ししない
(火災・感電の原因)

電源プラグ／電源コードを破損させない
(発火・火災・感電の原因)

- 電源コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きにしない。
- 無理に引っ張ったり、無理に曲げたり、束ねたり、傷をつけたりしない
- 使用中は熱で電源コードが傷むため、電源コードを本体に触れさせない。
- ※電源プラグ・コードに異常があるときには直ちに、販売店または当社サービスセンターに点検・修理を依頼してください。



本体を傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたまま移動しない
(お湯がこぼれ、やけどの原因)

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使用しない
(感電・やけど・けがの原因)

注ぎ口をふきなどでふさがない
(お湯がふきこぼれ、やけどの原因)



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電・けがの原因)



自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
(故障や発火の原因)

お手入れ

傷や変形の原因になるので、クレンザー（研磨剤）、ペンシン、シンナー、金だわしは使用しない。

フィルター

柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で水洗いする

※取り外して洗い、乾かしてから取り付けてください。

電源ベース

よく絞った布でふき取る

本体内容器

すすぎ洗する

※石灰分のお手入れは、下記を参照してください。

本体外側

よく絞った布でふき取る

電源プラグ／電源コード

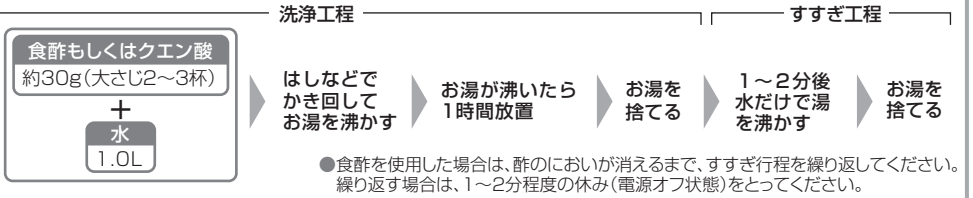
柔らかい布で乾拭きする

●落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、お湯を含ませ固く絞った布で、洗剤を残さず拭き取ってください。

内容器のお手入れについて（食酢・クエン酸洗浄のしかた）

長く使っていると、ケトル内に石灰分が付着し、白い膜ができます。使用頻度や水質によりますが付着が目立つ場合は、以下の方法で石灰分を除去してください。

2～3か月に一回を目安に行ってください



故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

？ 温度が上がらない／沸騰しない

チェック 電源プラグ ▶ コンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

？ 電源が入らない

チェック1 電源プラグ ▶ コンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

チェック2 水の量 ▶ 最小水量以上の水を入れていますか？

水が入っていないと、空だき防止機能が働きます。ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてから水を足してご使用ください。

？ お湯がふきこぼれる

チェック 水の量 ▶ 「1.0」ライン(＝最大水量)以上の水が入っていませんか？

「1.0」ラインを超えて注水しないでください。

？ 本体が熱い

お湯を沸かしている間や沸いた後のケトル表面は、**大変熱くなります。やけどをしないように取っ手を持って、十分気をつけてお取り扱いください。**

故障ではありません。

注意

お湯を注ぐときは、ケトルを電源ベースから離す
(やけど・けがの原因)

付属の電源ベースと共に使用する
(火災・感電・故障の原因)

※ケトル本体は、直火(ガス台など)電気ヒーター、電磁調理プレートなどで使用すると、大変危険です。必ず電源ベースを使用してください。

本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
(火災・感電の原因)

使用する際は、必ずふたを閉める
(お湯がふきこぼれ、やけどの原因)

使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
(感電・ショートによる発火の原因)

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷めてから行う
(感電・やけどの原因)

不安定なところ、熱に弱いテーブルや敷物の上では使用しない
(本体や置いた物の変形・変質や火災の原因)

火気の近くや湿気の多いところ、特殊環境下では使用しない
(ショートや感電による発火の原因)

- [例]
- ・水道や熱源の近く
 - ・屋外や湿気の多い場所(部屋)
 - ・特殊な環境(硫化ガスの発生する場所、塩害などのおそれがある場所)

ケトルに水以外のものを入れたり、他の用途で使用したりしない
(やけど・故障の原因)

内容物がふき出してくるおそれがあります。

本体や電源プラグ／電源コードを水に浸したり、水洗いしない
(故障や感電の原因)

ケトル底部や電源ベース、電源プラグ／電源コードは、水に浸したり、水洗いをしないでください。

本体接続部や電源ベースに水(お湯)をこぼさない
(ショート・感電の原因)

万一、こぼしてしまった場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。その後、販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

仕様

製品名称／型式番号		デロンギ シーン 電気ケトル/SJM470J
定格	電圧／周波数	交流100V 50/60Hz
	消費電力	1150W
定格容量	1.0L	
大きさ	本体：幅220 × 奥行150 × 高さ170(mm)	
	本体+電源ベース：幅220 × 奥行150 × 高さ195(mm)	
質量	本体：約0.8kg 本体+電源ベース：約1kg	
材質	ケトル本体：ステンレススチール (SUS304)、電源ベース：ポリプロピレン、ステンレススチール (SUS304)、水量計：ポリプロピレン	
原産国	中国	

アフターサービス

1 使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター(保証書を参照)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 本体や操作部に、水やジュース(液体)などをこぼした
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に ① お買い上げ日 ② 製品名と型式番号 ③ 故障の状況－を連絡のうえ、修理を依頼してください。

- ※ 宅配便等を利用して当社サービスセンター(保証書を参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封くださるようお願いいたします。
- ※ お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ(保証書を参照)にてご確認ください。
- ※ 保証規定に関しては、保証書をご参照ください。

2 補修用性能部品の保有期間について：

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 まごころ点検について：

長年ご使用の電気ケトルは、点検をお勧めします。

保証期間(1年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社サービスセンター(保証書を参照)までお問い合わせください。



4 デロンギ再資源化システムについて：

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンター(保証書を参照)までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



- 送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。
- 梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
- ※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンター(保証書を参照)までお問い合わせください。